

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	演習 3	
科目基礎情報					
開設学科	放送芸術科	コース名	全コース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	240時間
単位数	8単位			授業形態	実習
教科書/教材	教科書/教材/資料については授業内に適時配布				
担当教員情報					
担当教員	上遠野順子・金井高広・長濱和久			実務経験の有無・職種	有 映像制作・技術
学習目的					
一年次に学んだ制作・カメラ・編集・照明・音声・美術の専門知識をより実践的に学ぶべく合同による中間制作を実施。 映像制作の流れを理解すると共に機材の使用法や使用用途など、各分野の具体的かつ実践的な知識を身につける事を目的とする。					
到達目標					
映像技術を専門的に学ぶ学生については実践から機材の使用法・使用用途を学び映像作品を完成させる。 また、制作を学ぶ学生については企画・制作進行・演出から完成までの全過程に関わる事で コミュニケーションスキルは勿論、責任感を備えたリーダーシップスキルと決断力・実行力を向上させる事を目標とする。					
教育方法等					
授業概要	ドラマ班・番組班・CM（MV）班の3班に分けそれぞれのジャンルで作品の企画立案。 脚本・台本の執筆から収録準備を行い撮影・収録を行い、最後に編集・整音作業を行い作品を完成させる。 尚、作品制作は全てチーム制作とする。				
注意点	評価については実習の特性（チーム制作が主となる為）から成果物のクオリティ以外にも出席を含む平常点が重視される事を理解する事。 尚、実習内容については制作・カメラ・編集・照明・音声・美術の各専門分野によって一部異なる。授業時数の4分の3以上出席しない者は 定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	実技・課題	50%	実習における成果物を総合的に評価する		
	レポート	25%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	平常点	25%	積極的な授業参加度、受講態度などによって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	主な実習内容		主な各回の到達目標		
1回	プレゼンテーション		企画のプレゼンを行い課題作品を決定する		
2回	班分け～企画		班分け～チームによる企画のブラッシュアップ		
3回	企画		チームによる企画のブラッシュアップ～企画概要の決定		
4回	リサーチ		ロケ地・取材対象のリサーチほか		
5回	撮影準備（リサーチ）		脚本・台本作成、撮影仕込み①		
6回	撮影準備（リサーチ）		脚本・台本作成、撮影仕込み②		
7回	撮影準備（リサーチ）		脚本・台本作成、撮影仕込み③		
8回	撮影準備（リサーチ）		脚本・台本作成、撮影仕込み④		
9回	撮影準備（リサーチ）		脚本・台本作成、撮影仕込み⑤		
10回	プレゼン準備		中間制作プレゼンテーションの準備		
11回	中間制作プレゼンテーション		技術コースの学生に対して全作品の企画概要を説明		
12回	技術打ち合わせ		技術コースへ撮影内容の説明を行い問題点の洗い出し		
13回	ロケハン		ロケ地の下見を行い撮影内容の確認、問題点を洗い出し及び改善する		
14回	ロケ撮影		ロケ撮影①		
15回	ロケ撮影		ロケ撮影②		
授業計画（16回～30回）					
回	主な実習内容		主な各回の到達目標		
16回	ロケ撮影		ロケ撮影③		
17回	ロケ撮影		ロケ撮影④		
18回	ロケ撮影		ロケ撮影⑤		
19回	編集		編集作業①		
20回	編集		編集作業②		
21回	編集		編集作業③		
22回	編集		編集作業④		
23回	編集		編集作業⑤		
24回	編集		編集作業⑥		
25回	MA		ナレーション収録・整音作業		
26回	MA		ナレーション収録・整音作業		
27回	MA		ナレーション収録・整音作業		
28回	スタジオリハーサル		スタジオ収録のリハーサルを行い問題点の洗い出し		
29回	スタジオ本番		スタジオ収録本番		
30回	レビュー/反省会		完成作品のレビューから反省点を洗い出し今後の作品制作に生かす		